

校訓

「自律・奉仕・創造」

自律：自らの意思で考え正しく判断し、行動しようとする心
奉仕：他を思いやり、人や社会のために貢献しようとする心
創造：新たな道、夢、未来を自ら切り開こうとする心

学校教育目標

生きる力を身につけ、心豊かで、たくましく
未来を創造しようとする生徒の育成

本市の教育目標

- ・自立し、思いやりの心をもつ子ども
- ・新たな価値創造に挑戦する子ども
- ・本市に誇りをもつ子ども

目指す学校像

- ・規律が守られ、明るく笑顔があふれ、活気のある学校
- ・生徒一人一人が大切にされ、教職員と生徒の信頼関係のもと、互いに成長できる学校
- ・「地域の中の学校」として、地域や保護者に信頼され、期待される学校
- ・安全で美しく、学習環境が整った学校
- ・社会の変化に適應できる力の基礎を培う学校

目指す生徒像

- ・自ら考え、正しく判断し、責任をもって行動できる生徒
- ・強い意志で自らを戒め、何事にも全力で取り組む生徒
- ・自他の命を大切にし、思いやりの心を持ち、人の心の痛みや優しさを素直に感じ取れる生徒
- ・自分の可能性を信じ、夢を持ち、自己実現のために努力しようとする生徒
- ・感謝の気持ちを持ち、他人のために力を発揮し、社会に貢献できる生徒

目指す教師像

- ・教育公務員としての使命と責任を自覚し、常に自己研鑽と指導力向上に努める教師
- ・教育的な温かさとしげさをもち、子どもの人権を大切にしながらしっかりと向き合い、信頼される教師
- ・保護者・地域と連携し、協力を努める教師
- ・組織の一員として、学校運営に参画・協働する教師
- ・自己の力を発揮し、互いに切磋琢磨するとともに、心身共に健康で、やりがいをもって教育にあたる教師

本年度の重点目標と具体的方策

確かな学力の向上

- ◎学習指導要領及び本市スタカリを踏まえた、生徒一人一人に応じた「わかる授業」の創造
(主体的に学びに向かう学習指導、指導と評価の一体化等)による学力向上の推進
- ①「わかる授業」の実践(「わかる授業づくりの5つのポイント」の実践、「めあて」振り返りを明確にした授業実践、ICTの活用、学びあいの基盤づくり、互見授業等による授業改善)
 - ②個に応じた指導と指導方法の工夫・改善(全校体制で行う学力調査からの課題発見、TT授業等の実践、家庭学習の定着、授業時数確保、支援を要する生徒対応等学習支援の充実)
 - ③言語活動の活性化(読書活動の推進、対話を意識した授業実践、生徒の発表の場設定)
 - ④小中連携や学校の特色を生かした教育活動の推進(9年間を通したカリキュラムや授業規律等の連携、SDGsの視点を踏まえた学習、地域人材を活用した学習)

心の育ちの推進

- ◎自他のよさに気づき認め合う心を持ち、豊かな心を育てる教育の推進
- ①道徳の時間の充実(発達段階に応じた教材選定、系統的な年間計画の作成)
 - ②確かな人権感覚を育む人権教育の推進(発達段階に応じた教材選定、平和に関する指導の計画的な実施、偏見や差別に関する正しい理解及び防止、いじめ防止)
 - ③組織的・積極的な生徒指導の推進(「ホウ・レン・ソウ+確認・記録」の徹底、生徒指導体制整備、「危機管理のさしすぜ」の実践、相談活動の充実、生徒の主体性を高める指導)
 - ④教室等校内環境の整備(清掃指導、掲示物の充実、施設や学校資源を活用した環境整備の工夫・改善、率先垂範・協働精神)

健やかな体の育成

- ◎健やかな体をつくる指導の充実、主体的に体力の向上を図る生徒の育成
- ①基本的な生活習慣の定着(規則正しい生活・食事・睡眠・運動の奨励・指導)
 - ②生徒が主体的に取り組む体力向上の推進(体力テストの結果を基にした課題発見及び指導の工夫、「黒中運動タイム」等での運動の場の提供)
 - ③命と健康を守る健康・安全・防災教育の推進(SCと連携した心の健康保持、実効性のある避難訓練等防災教育、保健調査等からの健康状態の把握、安全点検等学校事故の未然防止)
 - ④食育の推進(給食喫食数確保、残食ゼロの実践、食への感謝の気持ちの醸成、栄養教諭と連携した日常的食生活指導と食育授業の実践、生徒会の取組)
 - ⑤ポストコロナを念頭においた教育活動の継続(経験を生かした発想と効果などの検証)

スクールプランによる
取組・実践・検証

学校における業務改善の取組

- ◎やりがいをもって業務にあたる働きやすい職場づくりのための業務改善とWLBの推進
- ①「業務改善推進モデル校」の実践による抜本的な取組の実践(出退勤時間変更の取組、教育課程の試験的な見直し、採点作業負担軽減の取組、学校行事の見直し)
 - ②学校全体の業務の平準化・効率化の実践(「学校における業務改善プログラム」の推進、全体を俯瞰した業務分担、学校行事の効果的・効率的な計画立案、協力体制の構築)
 - ③【時間】を意識した業務の推進(予定や提出期限を意識した業務の実践、1日の中で「5分」の隙間時間捻出への意識、効率的な協同作業による業務時間短縮の推奨)
 - ④ワークライフバランスの推進(心身の健康に留意した勤務の促進、年次休暇・特別休暇取得促進と協力体制構築、相談や雑談等で互いに支えあえる職場環境づくり)

本校重点課題

- 【不登校生徒への対応】「ステップアップルーム」の整備・活用 関係機関との連携 個別の状況把握と不登校対策委員会での対応検討 等
- 【支援を要する生徒への対応】 特別支援教育推進委員会による情報共有及び対応検討 全職員での見守り指導 関係機関との連携 等
- 【共通理解・共通実践に向けての取組】 管理職や学年主任等への報告の徹底 周知事項の徹底 各学年分掌間での連携 同僚性の構築 等

「夢」と「笑顔」が溢れ、何事にも挑戦する学校へ キーワードは【チームで】【元気で】【笑顔で】

“チーム黒崎”として教育目標の達成のために

教師として大切にもち続けていきたいこと

授業力向上のための研究・研修意欲

- ・「1時間1時間の授業の中に教育の全てがある」ことを認識し、毎日の授業に臨みたい。
- ・年次研修や自己研修に積極的に参加するなど、自己の力量を常に高めようとする教師でありたい。
- ・互見授業や意見交換で客観的な意見をもとに、常に授業改善に取り組む教師でありたい。
- ・ベテランの経験に学び、若年の新鮮な発想を尊重し、組織で人材育成に当たる意識を高めたい。

生徒理解・生徒指導力向上のための意識

- ・生徒の人権を尊重した指導に努め、確かな人権感覚を育て、いじめのない学校づくりを実現したい。
- ・生徒のサインを見逃さないためのアンテナを高くし、日常を重視した生徒指導に努めたい。
- ・危機管理体制を整備し、リスクマネジメントに努め、現状から最善・最速の対応を心がけたい。
- ・生徒会、部活動等、生徒が主体的に取り組む活動を推進し、達成感や満足感を味わわせたい。

教育公務員としての使命感と自覚

- ・綱紀肅正に努め、「黒崎中学校不祥事防止宣言」のもと、全職員で不祥事撲滅の自覚を高めたい。
- ・生徒や学校だけでなく、職員や家族等を守るためにも、互いに注意し、助け合う職員集団でありたい。
- ・子どもたちは教師を見ているということを忘れず、TPOに応じた服装、言動に気をつけたい。
- ・困難な事象対応は決して一人で抱え込まず相談し、また、自分自身も相談を受けられる教師でありたい。

一人一人が高めていきたい大切な力

表現力

- ※表現力…自分の感情や思考を、他者にわかりやすく伝える能力
- ・語彙力を高め、相手目線で理解させるための最適な表現方法を身につける。
- ・授業において、適切な発問や興味関心を引き出す教材選定、生徒の発言への適切な対応等でわかる授業づくりを図る。
- ・業務において、内容の整理とポイントを絞った伝達で周知事項を徹底し、円滑な業務遂行を図る。

想像力

- ※想像力…未来に起こると考えられる出来事や結果を思い描く能力
- ・結果をイメージし、最大限の成果を得るための準備と想定されるトラブルへの対策を行う。
- ・生徒対応を含め、相手の気持ちを推し量りながら対話することで、円滑なコミュニケーションを図る。
- ・目標達成へのプロセスをイメージすることで、新たな取組や、より効果的な指導方法を創造する。
- ・起こりえる学校事故を予見し、未然防止に向けて対応策を立て、安全な学校生活を送る。

援助希求力

- ※援助希求力…周囲にサポートを積極的に求める力
- ・生徒指導において、どのような事象も他職員に事前事後報告を行い、サポートを依頼する等、円滑な対応を心がける。
- ・授業づくり等は、積極的に同僚と相談し、学ぶ姿勢をもって研修し授業力向上を目指す。
- ・担当業務の目標、期限等を俯瞰的に見て、係内で協力し、組織として目標達成を目指す。
- ・自分の得意分野は積極的に主導や他のサポートをする意識をもち、不得意分野は尋ねながら、遂行しようと努力する姿勢をもつ。

- ☆一人一人が自己分析し、5項目を意識
- ☆バランスよくスキルアップ
- ☆先輩・同僚に学ぶつもりで日々研修

適応力

- ※適応力…新しい環境等に適応し、どのような環境でも自分のパフォーマンスを発揮する能力
- ・社会や教育の変革に向き合い、環境や内容が変わっても、自己の持てる力を十分に発揮できるようにする。
- ・様々な意見や考え方を否定せず、自己の持てるスキルと融合させながら、自己の成長につなげるようにする。

適応力

3つの“わ”で力を結集

和：それぞれの思いが尊重される温かな職場
 輪：組織の一員としての同僚性が感じられる集団
 話：悩みや相談が気兼ねなく話せる心の環境

プラスワン…自分の得意分野を磨き、さらにスキルを高めていくこと

- ・各職員が、自己の得意分野で力量を発揮させ、学校としての総合力を高めるために、スキルアップを目指す。

プラス1(ワン)

教育委員会からの指導助言
関係機関との連携協力 等

地域人材の活用
父母教師会からの支援
保護者との連携 等

【チーム黒崎】の組織力・学校力を向上させ、「通いたい学校」「通わせたい学校」「働きたい学校」に！